

# ちいきの大学

2013  
春  
06



## Contents

- 地域教育連携推進協議会 ● あいちの大学「学び」フォーラム
- 大学と県教育委員会との連携推進会議
- 包括協定市との連携事業 - 刈谷市長の講話 -
- 各市との連携公開講座開設のための連絡会
- 外国人児童生徒支援の地域連携会議
- スペシャルオリンピックス日本・愛知地区大会へ参加して
- 高校訪問授業 ● イルミネーション ● インフォメーション

愛知教育大学は教育界をはじめ広く社会と連携し、社会からの要請に応じて、教育研究の成果を還元し、社会の発展に貢献します。



桜並木・バス停からの坂



中庭



実習園での田植え

愛知教育大学内・周辺の自然



自然科学棟南のシダレザクラ

## ちいきの大学をめざして

地域連携センター長 都築 繁幸

本学は刈谷の地にありますが、古くは衣浦湾の入り江の奥に位置し、魚介類がたくさん採れ、台地端からの湧き水も豊富であったことから古代より人が住み良い地域であったとされています。この地域に元慶元年（877年）、菊谷出雲守の一族が移り住み開発したことが、「刈谷」の地名の由来とされています。史資料には、「青見（あおみ）」から「碧海（あおみ）」となり、碧海郡（あおみぐん）は15の郷を有していたことも記されています。近世以降、「碧海郡」は「へきかいぐん」（通常は、「へっかいぐん」と呼ばれ、戦後間もなく、郡内では市制施行や市町村合併が進み、1970年12月1日に碧海郡は消滅しました。現在、刈谷市・安城市・高浜市・知立市・碧南市の5市が「碧海5市」と呼ばれています。

本学の敷地内に「愛知教育大学附属高等学校」がありますが、その校歌は、「碧海野（あおみの）の空広がりて」から始まります。1973年4月に第1回入学式が行われて以来、多くの若者が巣立っています。

発行

愛知教育大学 教育創造開発機構 地域連携センター

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 tel 0566-26-2129 fax 0566-95-0035 mail chiiki@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

<http://www.aichi-edu.ac.jp>

## 地域教育連携推進協議会

平成24年12月19日（水）、K K R ホテル名古屋にて「第11回愛知教育大学・愛知県内教育委員会地域教育連携協議会」が学外委員11名及び本学の地域連携センター長都築理事はじめ学内委員12名と事務局関係者9名が出席し開催されました。現職教員研修や地域貢献事業など地域教育連携に関する当面の課題について様々な意見交換がなされ、2時間の会議は終了しました。



主な意見は以下のとおりです。

- ◆**学生が直接、母校へボランティア活動の申し込みをすることは可能でしょうか。（学内委員）**
- ◇市町村教委が実態を把握した上で、学生が学校現場に入ることが望ましいと思っています。母校を所管している教育委員会へ出かけて相談したり、平成24年3月よりスタートしている「あいちの学校連携ネット」を利用したりするとよいと思います。基本的に学校現場は、学生にアシストしてもらえることについては、大変歓迎をします。
- ◆**名古屋市教育センターでは、大学院生がセンター研修を参観することはできるでしょうか。（学内委員）**
- ◇他県の教育委員会からの視察は受け入れていますので、見学は可能だと思います。夏に行っています講座「アイデアいっぱい楽しい授業づくり講座」は、現場教員が毎年多数受講します。若手からベテランまでの教員が授業のヒントを得るために受講されますので、見学の対象となると思います。
- ◆**4年生の最後に実施する教職実践演習は、どのようなものでしょうか。（学外委員）**
- ◇コミュニケーション能力の育成や子どもとのとらえ方など、大学4年間のカリキュラムで学んだことの総復習です。
- ◇大学の授業の一環として行うものであり、卒業要件です。学校現場に行くことが義務付けられているものではありません。
- ◆**教育実践演習では、学校現場で必要な生徒指導での実践的指導力や保護者との対応の仕方などを是非、大学で指導していただけるとありがたいと思います。（学外委員）**
- ◆**理科支援員制度について、学校現場の評価と次年度以降の状況を教えてほしい。（学内委員）**
- ◇理科支援員は大変高い評価を受けています。名称は変わりますが、同様な制度は実施されますので、お力添えをいただきたい。

## あいちの大学「学び」フォーラム

愛知県教育委員会は、平成24年度より高校生が大学のキャンパスで大学教員による90分の本格的講義を受講する、高校生のための「あいちの大学『学び』フォーラム」を企画しました。県内のすべての高校及び特別支援学校高等部の1～2年生を対象に、平成24年の10月、11月、12月にわたり、県内の21の大学の教授陣が講義を行い、89の高校から598名の高校生が参加しました。愛知県は、東京・大阪に次ぐ49の4年制大学があり、大学が多いという本県の特色を活かし、平成23年度に「大学と県教育委員会との連携推進会議」を立ち上げました。本フォーラムは、この会議の成果の一つとしてモデル的に開催されました。

本学からは、「手話の成り立ちを考えるー特別支援教育入門ー」と題して、障害児教育講座の小田侯朗教授がご自身で手話を使用しながら、手話は、聞こえない人々の生活と歴史の中で発展してきた言語であることを講義されました。



## 大学と県教育委員会との連携推進会議

本会議は愛知県内に所在する4年制大学、関係教育機関、愛知県及び愛知県教育委員会により構成されています。1月31日（木）の午後愛知県庁で開催され、本学から都築理事・副学長が参加されました。

会議では、平成25年度大学生による小・中学校での学習支援の充実に向けた取組について議論がなされ、次の二つの実施が決まりました。

- 1 **大学と市町村教育委員会による情報交換会の開催**  
10月から11月にかけて尾張地区及び三河地区の2会場で開催する。
- 2 **大学の学生向けメール配信システムを利用したボランティア募集情報の提供**

「あいちの学校連携ネット」のボランティア募集情報を月1回程度、協力していただける大学内の学生向けメール配信システムを通じて、直接学生に情報提供をする。



## 包括協定市との連携事業－刈谷市長の講話－

刈谷市と本学は平成22年3月26日に包括協定を締結し、連携事業を充実しようとしています。

2月6日（水）午後、刈谷市の竹中良則市長が包括協定市との連携事業及びキャリア支援セミナーの一環として学生に講話をされました。

竹中市長は「私が考える公務員像」と題して自らのプロフィール、教育観、青年期の友情の大切さ等に触れた後、なぜ刈谷市職員になったのか、また職員として職場で経験したことや考えたことなどについて話されました。講話の中で、刈谷市職員として愛知教育大学の卒業生が66名活躍していることを紹介されました。そして、市職員から市長になった今、人材育成への思いを学生たちに熱く語られる中で、4C1Sの確立を目指していると言われました。4C1Sとは、次のような内容です。

CLEAN：公務員としての基本的な行動と清潔さ

CITIZEN：市民目線で相手の立場に立って考えられること

CHALLENGE：新しいことに向かっていく気持ちを忘れないこと

COST：質的な意味で考える、余分な仕事はしない、ニーズに合う量の仕事をし、必要な量の仕事を必要なタイミングで進めること

SPEED：すばやいレスポンス

カウンター、手紙、電話で来ててもその都度対応していく能力

## 各市との連携公開講座開設のための連絡会

本学では、近隣各市と締結した包括協定及び教育委員会との覚書きに基づき、平成24年度から「各市と大学との連携公開講座」を開設しています。平成24年度は12講座を実施しました。

平成25年度の連携公開講座の開設に向けて、各市の実務担当者と地域連携センターの委員が一堂に会して、1月11日（金）に連絡会を行いました。



連絡会では、各市が実施している市民向け公開講座の現状を理解でき、各市の具体的な要望も参会者全員で共有することができ、平成25年度の計画を作るにあたって大変有意義な会となりました。主な要望は次のとおりです。

- 現在の講座を継続開催、連続講座の開催を望みたい。
- 専門性の高い講座を希望したい。
- 受講申し込み方法の改善、市民へのさらなる広報活動の推進を期待したい。

## 外国人児童生徒支援の地域連携会議

平成24年度の地域連携会議は、連携5市（刈谷市、豊田市、知立市、豊明市、碧南市）及び事業に関連する幼保園の関係各位、本学の協力教員をお招きして2月8日（金）に開催しました。外国人児童生徒支援の活動が非常に多岐にわたり、本学のかかわり方も複雑化してきていることから、冒頭にプロジェクト代表から事業の全体像の説明がありました。外国人児童生徒支援の活動は、愛教大方式と名付けた「学校現場、教育委員会、大学が連携し、支援者と被支援者という関係ではなく、外国人児童生徒、現場教員、学部生・大学院生が互恵的な関係に立ち、それぞれの将来を築く足掛かりを作っていく形」で進めており、本学の学生教育にも大きく貢献している活動であることを説明しました。

現在、愛知教育大学の取り組んでいる外国人児童生徒支援の活動は、大きく3つの柱からなっています。その一つは連携5市との協力で進めている学生派遣等の事業であり、もう一つは幼稚園、保育園、こども園といった就学前の段階と義務教育後の高校での支援に関する調査事業であり、他の一つは、「虹の架け橋」事業です。それぞれの活動が、本学の学生教育にも資していることを紹介し、今回は、初めての試みとして支援している学生4名のプレゼンテーションを行いました。この活動は、学生にとって、大学での学びを単なる座学に終わらせず、現場の先生からのご指導をいただきながら子どもの実態を知ったうえでの具体的な学びにつなげていけるという貴重な経験になっています。これらの報告に対し、現場の先生方から温かいコメントと励ましをいただくことができました。

また、幼稚園、保育園、こども園に通う子どもたちやそのご父兄、先生方へのガイドブック作成では、サンプルを回覧し、2012年度末の出版についてご報告しました。

「虹の架け橋事業」も第六次公募に応募したことを報告しました。2月末、2013年度の事業採択の連絡が届き、新年度も事業を継続することになりました。

このほか、外国人児童生徒支援リソースルームでの活動報告が行われ、お招きした先生方、本学の協力教員からの質疑やコメントのやり取りがあり会議を終えました。



## スペシャルオリンピックス 日本・愛知地区大会へ参加して

地域連携センター兼担教員／保健体育講座 教員  
鈴木 英樹

皆さんはスペシャルオリンピックスをご存じでしょうか？スペシャルオリンピックス（SO）とは、知的発達障害のある人たちに、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織のことで、その使命は、知的発達障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じたさまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気をふるい、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供することです。

現在、SOには180の国や地域が加盟し、約280万人のアスリートと75万人のボランティアが活動に参加しています。日本ではSOの活動は1980年に導入され、1994年にSO日本がSO国際本部の認証を受け発足しました。その、SO日本・愛知の日頃の活動の成果を試す地区大会（競技会）が11月18日にトヨタスポーツセンターで行われました。その地区大会に、私は本学の教職員と学生の計10名でボランティアとして参加してきました。地区大会当日は、156名のアスリートが陸上競技、水泳、サッカーをはじめとした7種目の競技に分かれて参加しました。また、我々を含めたボランティアは107名で、それぞれの希望に応じた種目においてサポートを行いました。

アスリートに対するボランティアの人数からも分かるように、この活動には多くの支えが必要です。当初、それだけボランティアを必要とする大変な活動なのかと不安がありました。しかし、終わって気が付いたのは、疲れもなく、ほんのりと暖くなった自分の心でした。また、アスリートが懸命に走ったり、ボールを追う姿に、忘れかけていたスポーツの素晴らしさに気づきました。是非、学生をはじめ多くの方々にこの経験をして頂ければと思います。今年も11月に地区大会があります。皆さんの参加をお待ちしています。



## 高校訪問授業

平成24年度は高校訪問授業を、30件実施しました。愛知県内の24の高校へ32名の本学教員が訪問し、1384名の高校生に大学の講義を体験していただきました。講義は教科教育や教職実践・教育臨床などが中心に開講されました。24の高校の内、公立高校は23校、私立高校は1校でした。

高校訪問授業実施校のうち3校が、大学見学として保護者や高校生が来学しています。

平成25年度の高校訪問授業は、6月1日～11月上旬の間とします。（大学行事、本務の都合などにより訪問できない期日がありますので、地域連携センターまでお問い合わせください。）

申し込みの受付期間は4月1日～8月31日の間です。実施希望日の2ヶ月前までに、ぜひ早めにお申し込みください。

訪問授業のお申し込みは、1校につき本学教員1名となっています。

◇高校訪問授業実施要項

<http://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/sham.html>

## イルミネーション

刈谷駅前を彩る「アクアモールイルミネーション」を宇納一公教授（美術教育）の指導で、美術の選修・専攻の1・2年生36人が制作しました。

この事業は、本学と刈谷市駅前商店街との連携で実施され6回目を迎えました。今回のテーマは「サーカス」で、夏休み前から計画し、10月から制作を開始。象の曲芸や、ライオンの火の輪くぐりなどのモチーフをリアルな立体に仕上げるなど、20点を完成させました。



刈谷駅前の通りのところどころに彫刻作品を配置して、彫刻とイルミネーションのコラボも見どころの一つです。イルミネーションの点灯は午後5時から10時頃まで、11月から1月の中旬まで行われました。

学生の声「愛教大に入る前から作りたかったイルミネーション。皆さんに喜んでもらい、刈谷を盛り上げていけたらいいなと思っています。」

## Information

### オープンキャンパス

2013年7月27日(土)・28日(日)

コース別説明会・質問コーナー・サークル紹介などが予定されています。決まり次第、大学HPに掲載されます。